

小林愛雄 こばやし あいゆう 詩人。明治十四年十一月一日東京生れ、昭和二十年十月一日歿（二六二—九五）。明治四十年東京帝國大學文科大學英文科卒業。四十一年後藤宙外、中島孤島等の文藝革新會に参加。のち常盤松高等女學校校長など。

- 著譯書『管絃』（明治四十年四月八日彩雲閣）、『日記新文範』（編、日本文章學院編、明治四十二年二月）二十日新潮社「作文叢書」、『支那印象記』（明治四十四年十一月十日二日敬文館）、『近代詞華集』（大正元年十一月十日春陽堂「現代文藝叢書」）、『神話と傳説』（大正二年八月十四日赤城正藏刊「ツカギ叢書」）、『西洋演劇史』（大正二年八月）二十日赤城正藏刊「ツカギ叢書」、『現代文章作法』（合著、大正四年一月五日、再刊・五月二日忠誠堂出版部）、喜歌劇『戦争と平和』（譯、大正四年五月二十九日愛音會）、『現代萬葉集』（譯、大正五年四月二十日愛音會出版部）、『無敵のなぐ暮し方』（大正六年十月二十三日佐藤出版部）、『傑作童話選集』（合著・大畑匡山編著、大正十一年六月五日岡村書店）、『餘興劇脚本集』（大正十一年九月十五日東京文社）、『註解現代共詩選』（大正十二年六月）二十日育英書院）、『詩と音楽と舞踊』（大正十二年十月十日東京文社「音楽叢書」）、『歌劇の研究』（大正十四年八月二十日東京文社）等。